

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
中学校	田辺市立 上秋津中学校	榎本 隆也
学校所在地		
(〒 646 - 0001 ) 和歌山県田辺市上秋津2263-2 tel 0739 ( 35 ) 0204 fax 0739 ( 35 ) 8024		
担当者名	役職名・担当教科	
福田 啓恵	教諭・理科	
<p>〔学校の概要〕</p> <p>本校は、旧田辺市の東北部、市街地から約5キロメートルのところに位置し、右会津川沿い一帯と標高606メートルの高尾山麓及びその斜面に広がる梅、柑橘類を中心とした農業地帯が主な地域である。上秋津地区は梅、柑橘類を中心とする専業農家が大半を占めていたが、田辺市街地への交通が至便ということもあって、他地域からの転入者も多く、同方向に通勤する人も相当の割合を占めるようになってきた。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 1年生 32名	1名 職員4名	教室・熊野古道
実践研究テーマ		
地域の魅力を知り、愛し、語り継げる子どもの育成		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	地域学習	
〔キーワード〕 世界遺産 ふるさと和歌山		
<p>〔単元目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動を通して、和歌山の歴史を体感するとともに、地域に貢献する行動のきっかけとする。</li> <li>・和歌山を世界的な視点から見ることで、改めて地元に対する理解を深める。</li> </ul>		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕		
全体 9 時間 （ 「 世界遺産学習、現地学習 」 9 時間 ）		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕		
<p>和歌山県世界遺産センター：世界遺産講座（出前授業）、次世代育成事業、現地学習、道普請</p> <p>和歌山県世界遺産マスター：次世代育成事業、現地学習</p>		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	出前講座 「世界遺産講座」	世界遺産センターの方に来校していただき、パワーポイントを使って、世界遺産や熊野古道について講義をしていただいた。	観察 ワークシート
2	事前学習	世界遺産センターのパンフレット等を使い、前回の職員の方の講義を振り返りながら、熊野古道についての知識を深め、当日の行程を理解した。	観察
3	道普請 (伏拝王子跡付近)	世界遺産マスターや世界遺産センターの職員の方々に指導していただきながら、参詣道の保全活動を行った。	観察
4	現地学習 (伏拝王子跡～熊野本宮大社)	世界遺産マスターや世界遺産センターの職員の方々にガイドしていただきながら、熊野古道を歩いた。	観察
5	振り返り	感想文を書かせ、振り返りを行い、自分たちができることを考えさせた。 感想文の読み合い、個々の考えを交流した。	感想文 観察
〔单元学習の成果と課題〕			
<p>同じ田辺市に在住しながらも、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を訪れた事もほとんどなく、その知識もない生徒が多かったが、本学習を行うことで和歌山県や田辺市、また世界遺産に興味を持つ生徒が増えた。特に、現地に実際に行って道普請をしたり熊野古道を歩いたりしたことで、世界遺産に興味を持ち、また、次の世代につないでいくという思いを得ることができたようである。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<p>社会科で世界遺産について学習しているが、普段の生活では触れる機会も少なく、生徒にとってはどこか離れた遠くの存在であったように思うが、今回、世界遺産の熊野古道を実際に生徒自らの足で歩き、参詣道の保全活動を行ったことで、身近なものとして認識できた。机上の学習はもちろん大切であるが、実体験のそれは何にも代えがたい感覚や思いを獲得することができたようである。</p>			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<p>予算の関係から学校独自で熊野古道を訪問することは難しく、今回、初めて本事業に参加させていただき、実際に熊野古道を歩き、保全活動を行うことができた。可能であれば、道普請を兼ねた古道ウォークを第1学年で実施する形を継続したい。</p>			

## 様式 2

令和5年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

### ○道普請



### ○参詣道ウォーク



### ○生徒の感想

- ・熊野古道を歩くのは初めてだったので、すごくワクワクしました。事前学習で、道普請の内容を聞いたときは「土は重そうだけど、距離は短いだろう。」と思っていましたが、実際、土は最初軽く感じましたが、思っていたより長い道のりを運んでいるうちにだんだん重たくなってきて、大変さを感じました。
- ・今回、熊野古道を歩いてみてまず思ったのが「本当に景色が綺麗だな」ということでした。道普請のあいだも土を運んでいるとき周りを見るととても綺麗で感動しました。
- ・山を登るときに歌った歌が印象に残りました。みんなで歌いながら山を登ったことが良い思い出になりました。熊野古道の歴史もたくさん知れて本当に良い勉強になりました。
- ・今回は良い経験になりました。熊野古道のような世界遺産の道を自分たちの力でなおすということは、なかなか出来ないと思いました。また、実際の山道を歩いて熊野古道とはどのようなところか、景色はどんな様子かなど、授業では学べないことを丸一日かけて体験できたので、色々なことに気づけたり、色々なことを知れたりする機会になりました。
- ・熊野古道は世界遺産に登録されていることは知っていましたが、コンクリートの部分や、建物は世界遺産ではないものもあるということを知りました。また、世界遺産の周りにも保護されている場所があるということも知りました。熊野古道に行って学んだことを他の人に伝えて、熊野古道の良さを知ってもらえるようにしていきたいです。
- ・世界遺産を自分たちで守っていくことは大変だけれど、自分たちで守ることが大切なのだと改めて知ることが出来ました。熊野古道を歩いて道普請ができて本当に良い体験になったと思います。
- ・本宮大社は何度か行ったことがあったけれど、元々は別の場所にあったということを知って驚きました。私たちが歩いたところは熊野古道のほんの一部だったことにも驚きました。私は機会があればまた行ったことがない道を歩いてみたいと思います。行ったことがない人とも歩いてみたいです。
- ・今回は道普請をさせていただきましたが、自然や世界遺産を守るためにコンクリートを使わずに、土をしきつめていくという作業がすごく大変でした。でも、この作業をするほど世界遺産である熊野古道はとても大切にされてきたものなのだと改めて思いました。
- ・道普請で土運びをするとなったときには、「自分が世界遺産である熊野古道に何かしてもいいのか。」と正直驚いていました。でも、土運びをしているうちにだんだんとテンションが上がってきました。歴史のある熊野古道をこれからもずっと守り続けていくために、このような活動が必要なのだなと思いました。このような活動が続いて欲しいと思いました。